

市川 図書館だより No.113



2024. 3. 31

発行：市川市中央図書館 編集：広報委員会 〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 TEL. 047-320-3346

ご存知ですか!? 小説に登場する「市川」

「市川の文学」と聞くと、古くは万葉集、時代が進むと永井荷風や幸田露伴など、市川を拠点として活躍した文人を思い描く方も多いと思います。今回は、それよりさらに時を進め、現代文学の作品に焦点をあて、「市川」が舞台になっている作品や、作中のキーワードとして「市川」が使われている作品を集めてみました。



「図書館だより」
Web ページはこちら

小説を読んで、いつもとは違った視点で「市川」を味わってみませんか。



市川市北部・北西部

市川市北部、現在の里見公園には下総国の国府が置かれていて、政治や文化の中心として栄えました。また、真間に伝わる「手児奈伝説」は万葉集でも詠まれています。市川市の北部・北西部地区の情緒ある街並みは、近年多くの文人に愛されました。

『さそりたち』 井上ひさし／著 (中央公論新社 2021 ほか)

事務用機械メーカーの営業チーム「さそり」が、市川や松戸、小岩で商品を売り込みます。



「東は下総国分寺に国分尼寺がある。さらに東南へ進めば、真間の手児奈堂だ。(中略)手児奈堂の横には北原白秋の旧居があるが、そくだ、この市川ってとこは文人の旧居の多いところでな、永井荷風だろ、幸田露伴だろ、北原白秋だろ、(後略)”(p.9)

『精霊流し』 さだまさし／著 (幻冬舎 2001 ほか)

長崎と市川を舞台とした著者の自伝的小説です。国府台地区の描写が多く、里見公園も文中にたびたび登場します。



“春人と徳恵と三人で里見公園へ昆虫採集に出かけることになった。里見公園はかつて太田道灌の築いた城の跡だそのだが、戦時中には空襲の際の避難場所として利用されていた(後略)”(p.168)

『燃えよ剣』

司馬遼太郎／著 (文藝春秋 2020 ほか)

物語後半で、旧幕府脱走軍・大島圭介らが市川の渡船場から川を渡る描写があります。



“泥濘の道を行軍して、市川(現千葉県市川市)へむかった。市川には、他の旧幕士、会津藩士、桑名藩士らが屯集しているはずであり、(後略)”(p.537)

『ぶらり平蔵 [12] 奪還』

吉岡道夫／著 (コスミック出版 2022 ほか)

主人公、神谷平蔵が、市中で悪事を働いている一味を追い、一味の隠れ家である国府台に乗り込みます。

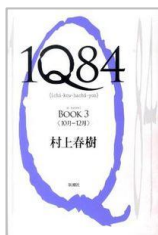


“「一味が根城にしている屋敷は御豊奉行を務めている三千三百石の身旗本逸見惣兵衛の別邸で、国府台の裾から辰巳の方角にあたる雑木林にあります」”(p.321)

『1Q84 BOOK1~3』

村上春樹／著 (新潮社 2009 ほか)

第1巻、第2巻で、主人公たち(天吾と青豆)が小学生の頃出会った街として市川の名前が登場しています。第3巻では、新しい展開の鍵を握る「牛河」なる人物が、前述の二人を探すために、市川の学校を訪ね市川の駅前で食事をとる場面があります。



“牛河は市川まで足を運んだ。ずいぶん遠出をするような気持ちだったが、実際には市川市は川を渡って千葉県に入っただけのところにあり、都心からそれほど時間はかからない。”(第3巻 p.190)

『風の墓碑銘』

エヒタフ

乃南アサ／著 (新潮社 2006 ほか)

小説の舞台として、本八幡駅、駅前のパティオ、京成八幡の踏切等、八幡界隈が描かれています。

“本八幡駅前のパティオから北へ延びている道は、きちんと歩道が整備されているものの、その幅が狭い上に人通りが多く、並んで歩くわけにはいかない状況だった。”(p.354)



市川市中部

市川市中部は、総武鉄道(現在の総武線)京成電気軌道(現在の京成本線)の開通で一気に市街化が進みました。文化都市・市川らしく、図書館が登場する作品も見られます。

市川市の図書館が登場する作品もあります！



『中央構造帯』

内田康夫／著
(講談社 2002 ほか)

死体が発見された場所が**八幡藪知らず**という設定で名探偵・探偵浅見光彦が図書館に藪知らずの調査に行きます。

“市川市には観光課というのはなかった。商工振興課で八幡不知藪の謂われ因縁を尋ねると教育課へ行くように言われ、教育課では図書館へ行くように勧められた。”(p.123)

『図書館の女王を捜して』

新井千裕／著 (講談社 2009)

作中の図書館は、**市川市中央図書館**がモデルです。

“図書館へは家から歩いて二十分ほどだ。(中略)生涯学習センターとしても利用されていて、会議室や学習ルーム、児童のための読み聞かせの部屋や展示会用のスペースなども備えている。”(p.41)



『ルドルフとスノーホワイト』

斉藤洋／作、杉浦範茂／絵 (講談社 2012)

「ルドルフとイッパイアッテナ」シリーズ第4巻。シリーズに出てくる農家の飼い猫、ドラゴン三兄弟は市川に住んでいる設定ですが、この巻ではイッパイアッテナが**市川**に出向く場面があります。



“「むこうに、戸じまりのあまい図書館があつてな。そこじゃ、英語の本が読みほうだいだ。」”(p.21)



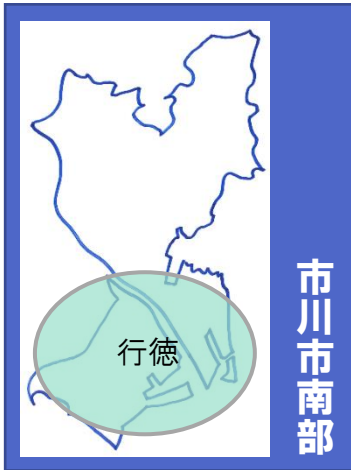
『千葉からほとんど出ない引きこもりの俺が、一度も海外に行ったことがないまゝルーマニア語の小説家になった話』

済東鉄腸／著 (左右社 2023)

“居るのは家か図書館か、図書館横のショッピングモールかって感じ”(p.14)

著者を苦境から救い出してくれたのは「ルーマニア語」でした。独学でルーマニア語を学び、ルーマニア語で小説執筆や詩作を行う著者のノンフィクションエッセイです。市川市在住の著者は、市川市中央図書館やニッケコルトンプラザ等で文筆活動を行っているそうです。

図書館で、済東鉄腸氏の目撃情報あり！



市川市南部

市川市南部、行徳地区は江戸時代、幕府の保護のもと塩業が発展しました。行徳の塩を江戸へ運ぶため、本行徳村からの定期船が往来し、町に賑わいが生まれました。行徳河岸は、時代小説にもしばしば登場しています。



『狐火ノ杜』

佐伯泰英／著 (双葉社 2003 ほか)

「居眠り聲音江戸双紙」シリーズ。第三章「行徳浜雨千鳥」は**行徳**が舞台です。

“聲音たちは行徳船を降りると、高札場で土地の老人に行徳の涙を訊ねた。(中略)「おおつ、これが行徳名物の笹屋のうどんですな」と淳庵がうどん屋の店先を指した。”(p.183)

『神田堀八つ下がり 河岸の夕映え』

宇江佐真理／著 (徳間書店 2003)

江戸の河岸沿いに住む人々を描いた短編集。「愛想づかし」は**行徳河岸**が舞台になっています。



“行徳河岸から船に乗る時も、旬助の足は自然に末広屋に向かった。小網町三丁目から箱崎町へ渡る橋詰めの辺りを行徳河岸という。”(p.201)

『かずら野』

乙川優三郎／著 (新潮社 2006 ほか)

閑宿、深川、**行徳**、銚子と千葉県を流転する時代小説。三章は行徳が舞台です。

“「行徳に何があるのかも分からないし...」「塩屋のほかは旅籠と寺に船宿、名物といやあ、干うんとこんにやく、そんなものしかねえらしい」”(p.171)



『雪見船』

藤原緋沙子／著 (光文社文庫 2017 ほか)

縁切り御用をつとめるお登勢の元に相談に来た若旦那は、**行徳の塩問屋**の婿という設定です。



“塩問屋富田屋が扱う塩は、江戸近辺でとれる塩が大半を占めていて、特にこの行徳の浜の塩は、ずっと昔から塩会所と契約していて、(後略)”(p.109)

『メタボラ METABOLA』

桐野夏生／著 (朝日新聞社 2007 ほか)

記憶喪失の主人公・磯村ギンジ=香月雄太の生育地として**行徳**が出てきます。

“父は営業で、毎日、病院や学会会場を車で走り回っていた。それが縁で、千葉県市川市にある産院で看護師をしていた母と知り合ったのだった。二人は結婚し、母の勤務先に近い行徳に居を構えた。”(p.421)



『楽園 上・下』

宮部みゆき／著 (文藝春秋 2007 ほか)

登場人物の出身地、また物語の伏線として**行徳**の描写が多く見られます。

“「わたしが二歳だか三歳だかのときに、父の実家を頼って行徳へ移ってきたんです。そのころはまだ、あのあたりは夏になると潮干狩りのできるようなところで、(後略)”(上巻 p.166)



『魔女』 樋口有介／著 (文藝春秋 2001 ほか)

登場人物の出身地、また物語の伏線として**行徳**を舞台とした描写が多く見られます。

“駅前の大通りを右へ行くと野鳥公園に向かい、左へ行くと旧江戸川の船着場につきあたる。”(p.63)



市川市が舞台になっている文学作品はほかにもあります。図書館 Web サイト「市川の文学データベース」では、今回紹介した作品以外でも、市川市に関する文学作品を調べることができます。ぜひご覧ください。

市川市 e-モニター制度を利用して、「未来の図書館に関するアンケート」を実施いたしました。来館者アンケートとは異なり、まだ図書館を利用したことがない方も対象にした調査です。調査実施期間は令和6年2月9日（金）～2月22日（木）で、有効回答者数は1,463名でした。

ここにアンケート結果の一部をご報告いたします。お寄せいただいたご意見につきましては今後の図書館運営に活かしてまいります。

市川市 e-モニター制度（愛称 e モニ）は、パソコンやスマートフォン等、インターネットを活用して意見を広く集めて市政に反映する、事前登録制のアンケート制度です。

e モニアンケート結果

ご協力ありがとうございました!

令和5年度の e-モニター制度を利用した調査では、図書館でロボットや人工知能などを使った未来型サービスの導入の是非、エリア分けの利用希望や、電子書籍についての調査を行いました。

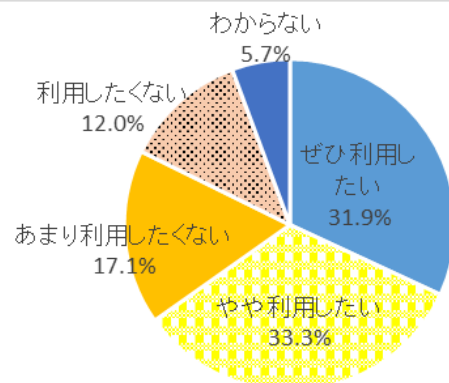
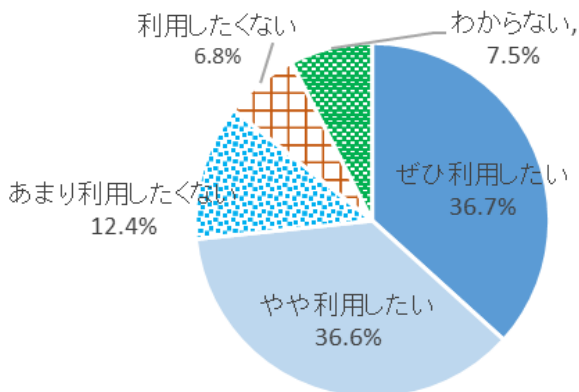
○図書館で本の場所が分からない時に、本棚まで案内してくれるロボットを利用したいかについては、ぜひ利用したい方ややや利用したい方がどちらも 37%となり、これを合計すると 74%と大部分の方が利用を望んでいることが分かりました。

○図書館で自由に飲食ができるエリアの利用については、ぜひ利用したい方が 32%、やや利用したい方が 33%となり、合計すると 65%の方が利用を望んでいます。また図書館で音楽が流れ、自由に会話ができるエリアの利用については、10%の方が利用を希望し、状況により利用したい方は 55%となりましたので、合計で 65%の方が利用したいと回答しています。その理由については、音楽が流れた方がリラックスできるからが最も多く 59%となり、次いで会話したいからが 51%となっています。

○紙と電子書籍のどちらを利用したいかについては、紙の利用が 68%とほぼ7割近くを占めています。利用したい理由については、84%の方が紙の本の方が読みやすいことを理由としてあげており、次いで 43%の方が図書館の本棚の中から気に入った本を探したいことを理由としていますので、電子書籍にはない魅力を感じていることが分かります。反面、紙よりも電子書籍を希望される方も 32%いることから、電子書籍にも一定の需要があることが伺えます。今回の貴重な意見をふまえ、今後のサービスのあり方を検討してまいります。

図書館で本の場所が分からない時に、案内ロボットが本棚まで案内してくれるとしたら、利用したいですか？

図書館に持ち込みで自由に飲食ができるエリアを設けた場合、利用したいですか？



*アンケートの結果は、4月以降、図書館ホームページでもご覧になれます。

②来館者へのアンケート

図書館の利用目的や、利用した成果、満足度、要望などを来館者アンケートにより市内各図書館及び大野・西部公民館図書室で調査いたしました。アンケート調査は中央図書館では令和6年2月16日（金）から3月2日（土）まで行いました。ここにアンケート結果の一部をご報告いたします。お寄せいただいたご意見につきましては、今後の図書館運営に活かしてまいります。

実施場所	実施期間	満足度の総回答数	「満足」または「やや満足」と回答した数	総合的満足度 (%)
中央図書館	中央 2/16(金)~3/2(土) 地域館 2/16(金)~2/22(木)	425	416	97.9%
行徳図書館		207	194	93.7%
信篤図書館		70	66	94.3%
南行徳図書館		88	86	97.7%
平田図書室		69	66	95.7%
合計		859	828	96.4%

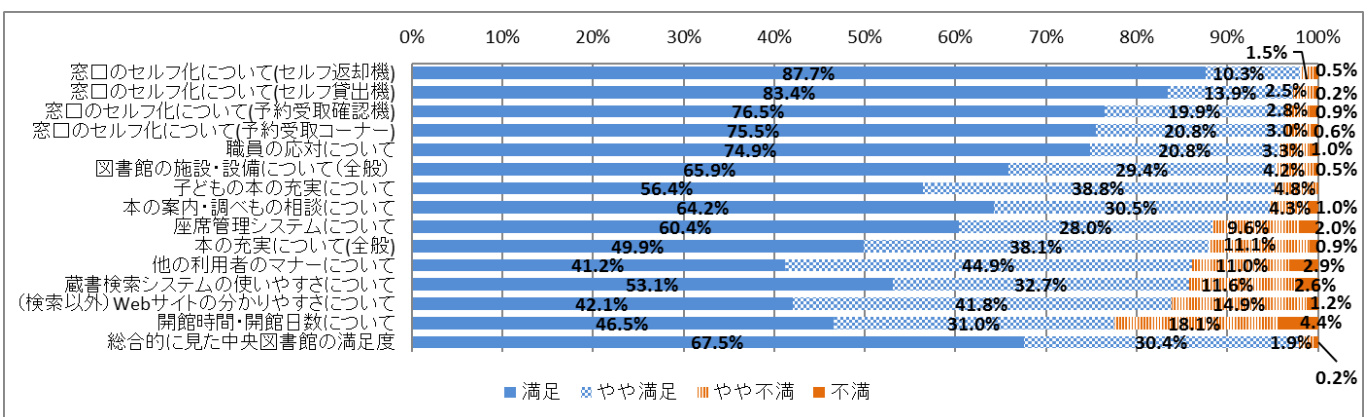
来館者へのアンケート結果

ご協力ありがとうございました!

今年度より、中央図書館ではWeb回答を導入したところ、回答者の年代で昨年度は最少であった10代が最多の17%となり、例年ではアンケートの回答を得られにくい年代から回答を得られました。新設の「自宅で使いたいサービス」では、すべての館で「市川市の図書館にない本をオンライン予約したい」が最多となり、40%を超えたので、利用者の期待が大きいことが伺えます。

「総合的な満足度」は、全体としては昨年の前回調査より0.3ポイント上がっての96.4%と高い結果となりました。項目別にみて満足度が高かったのは、「職員の応対」で、この項目については、すべての館で95%を超える高評価を得られました。今後も必要な対策を取りながら、新技術の導入や職員のスキルを高めることで、図書館サービスの向上に努めてまいります。一方これらに比べると、「本の充実」については、どの館においても概ね満足度が低くなっているため、多様な市民のニーズに対応できるよう、全館で計画的に資料の更新を図り、図書館サービスの拡充に努めていきたいと思っております。

中央図書館の満足度



自宅で使いたいサービスであてはまるものは？



サービス内容	選択数	割合	アンケート回答数
市川市の図書館にない本をオンライン予約したい	175	40.4%	433
スマホやPCで、利用日の前日から閲覧席をオンライン予約したい	118	27.3%	
電子書籍貸出サービスを利用して、図書館に行かずに自宅で本を読みみたい	90	20.8%	
図書館利用券の登録や更新を、免許証や保険証などの証明書を電子添付して、自宅からオンライン申請したい	78	18.0%	
スマホやPCで、人工知能によるおすすめ本をオンライン予約したい	66	15.2%	
資料の貸出・返却を、有料の宅配サービスで行いたい(市内1梱包:500円)	15	3.5%	